

のりす と 2009 (補遺含む) 著者順

秋野茂樹 2009.05.01 「アイヌの祭り:動物神の霊送り儀礼を例に」 宮島了誠、桑門智亜紀編 『季刊考古学』107 雄山閣:東京 pp.59-64

天野哲也 2006.07 小野裕子共著 「オホーツク文化研究におけるモヨロ貝塚遺跡の意義」 天野哲也編 『骨から探るオホーツク人の生活とルーツ:形質人類学・遺伝学による研究』 北海道大学総合博物館:札幌 pp.8-16

天野哲也 2006.07.20 「アイヌ文化形成の諸問題:歴史教育におけるアイヌ文化の意味」 天野哲也他編 『北方世界の交流と変容:中世の北東アジアと日本列島一』 山川出版:東京 pp.122-133

天野哲也 2006.09.25 「クマはなぜ畏敬の念を抱かれたか」 天野哲也他編 『ヒグマ学入門』 北海道大学出版会:札幌 pp.148-160

天野哲也 Amano, Tetsuya 2007 Sato, Takehiro 他共著 「Origins and Genetic Features of the Okhotsk People, Revealed by Ancient Mitochondrial DNA Analysis.」 『Journal of Human Genetics』 pp.618-627

天野哲也 2007 小野裕子共著 「擦文文化の時間軸の検討:道央、北部日本海沿岸域と東北北部の関係」 前川要編 『北東アジア交流史研究:古代と中世』 塙書房:東京 pp.241-268

天野哲也 2007 「古代東北北部地域・北海道における鉄鋼製品の生産と流通」 天野哲也、小野裕子編 『古代蝦夷からアイヌへ』 吉川弘文館: pp.284-300

天野哲也 2007 「なぜクマ送りなのか」 木村英明・本田優子編 『アイヌのクマ送りの世界』 同成社:東京 pp.112-132

天野哲也 2007.03.31 「考古学からみたアイヌ民族史」 澤登寛聡、小口雅史編 『アイヌ文化の成立と変容:交易と交流を中心として』 法政大学国際日本学研究所:東京 pp.37-52

天野哲也 2007.03.31 小野裕子共著 「オホーツク文化の形成と展開に関わる集団の文化的系統について:異系統文化の交流が生み出した海洋漁撈文化」 澤登寛聡、小口雅史編 『アイヌ文化の成立と変容:交易と交流を中心として』 法政大学国際日本学研究所:東京 pp.171-210

天野哲也 2008 Komesu, Atsuko 他共著 「Nonmetric Cranial Variation in Human Skeletal Remains Associated with Okhotsk Culture.」 『Anthropological Science, 』116(1) pp.33-47

天野哲也 2008 三辻利一、小野裕子共著 「オホーツク文化の集団間・対外交流の研究:1.礼文島香深井1遺跡出土陶質土器の蛍光X線分析」 『北海道大学総合博物館研究報告』4 pp.139-152

天野哲也 2008 「ユーラシアを結ぶヒグマの文化ベルト」 林良博他編 『ヒトと動物の関係学』4<野生と環境> 岩波書店:東京 pp.45-68

天野哲也 2008 『古代の海洋民オホーツク人の世界:アイヌ文化をさかのぼる』 雄山閣:東京 全440頁

天野哲也 2009 Matsumura, Hirofumi 共著 「Biological Affinities of Okhotsk-Culture People with East Siberians and Arctic People Based on Dental Characteristics.」 『Anthropological Science』117 pp.121-132

天野哲也 2009 「有孔・溶融土器」 米村衛編 『史跡最寄貝塚』 網走市教育委員会:網走 pp.337-341

天野哲也 2009 「サクシュコトニ河畔の暮らし」、「サク類とアイヌ民族の関わり」 阿部周一編 『サク学入門』 北海道大学出版会:札幌 pp.185-193

天野哲也 2009 「ヒグマ観念の交流」 天野哲也・池田榮史・臼杵勲編 『中世東アジアの周縁世界』 同成社:東京 pp. 204-207

天野哲也 2009 小野裕子共著 「アイヌ化と領域:北奥アイヌ文化の形成過程を考える」 天野哲也・池田榮史・臼杵勲編 『中世東アジアの周縁世界』 同成社:東京 pp. 283-300

天野哲也 2009 「サケ類とアイヌ民族の関わり 阿部周一編 『サケ学入門』 北海道大学出版会:札幌 pp. 195-202

岩崎まさみ 2007 「沙流川流域のアイヌ民族の食文化に関する応用研究(下)」 『新人文学』 3 北海学園大学大学院文学研究科:札幌 pp. 112-160

岩崎まさみ 2007 「ダム建設と沙流川流域の人々の生活」 『開発論集』 79 北海学園大学開発研究所:札幌 pp. 61-78

岩崎まさみ 2007 「サケをめぐる今と昔:カナダ北西海岸先住民のサケ漁」 『先住民による海洋資源の流通と管理』 (平成11年度~13年度科学研究補助金基盤研究A(2)研究成果報告書) pp. 93-112

岩崎まさみ 2008 「サケの民カナダ北西海岸先住民族—サケの保存・調理・分配」 岸上伸啓編 『海洋資源の流通と管理の人類学(みんぱく実践人類学シリーズ3)』 明石書房:東京 pp. 95-120.

岩崎まさみ 2009 「捕鯨の社会・文化的価値にもとづいた新たなクジラ資源管理制度:北大西洋海洋哺乳類委員会の試み」 『北海学園大学人文論集』 42pp. 59-83

岩崎まさみ Iwasaki, Masami 2009 「Traditional Food System and Nutritional Status of Indigenous Peoples: the Ainu in the Saru River Region, Japan」 Kuhnlein, H. V. et al. eds. 『Indigenous Peoples' Food Systems: the Many Dimensions of Culture, Diversity and Environment for Nutrition and Health』 Food and Agricultural Organization of the United Nations & Center for Indigenous Peoples' Nutrition and Environment:Rome.

岩崎まさみ 2009 「沙流川流域を変えた二つのダム建設」 岸上伸啓編 『みんぱく実践人類学シリーズ7』 明石書房:東京 pp. 157-182

宇田川洋 2009.03.19 「調査の方法(平成15~17年) 米村衛編 『史跡最寄貝塚』 網走市教育委員会:網走 pp. 7-16

宇田川洋 2009.03.19 「9号竪穴住居跡 a区アイヌ期焼土」 米村衛編 『史跡最寄貝塚』 網走市教育委員会:網走 p. 29

宇田川洋 2009.03.31 「知床の考古学」 斜里町立知床博物館編 『知床の考古』(しれとこライブラリー9) 北海道新聞社:札幌 pp. 10-21

宇田川洋 2009.03.31 「擦文・オホーツク・トビニタイ文化」 斜里町立知床博物館編 『知床の考古』(しれとこライブラリー9) 北海道新聞社:札幌 pp. 160-167

宇田川洋 2009.03.31 「アイヌ文化」 斜里町立知床博物館編 『知床の考古』(しれとこライブラリー9) 北海道新聞社:札幌 pp. 216-223

宇田川洋 2009.03.31 「知床のチャシ」 斜里町立知床博物館編 『知床の考古』(しれとこライブラリー9) 北海道新聞社:札幌 pp. 228-231

宇田川洋 2009.06.20 「アイヌ墓分析の一例:メナシクル城」 加藤晋平先生喜寿記念論文集刊行委員会編 『物質文化史学論聚』 北海道企画出版センター:札幌 pp. 329-339

岡田淳子 2009 「和服をリフォームしたアイヌ衣装:新十津川開拓記念館の収蔵資料」 『北海道の文化』

81 北海道文化財保護協会:札幌

風間伸次郎 2006.03 『Udihe Texts 2』(ツングース言語文化論集 31) 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所:東京 全 193 頁

風間伸次郎 2006.03 『ナーナイの民話と伝説 9』(ツングース言語文化論集 32) 千葉大学文学部:千葉

風間伸次郎 2006.03 『ウルチャロ承文芸原文集 3』(ツングース言語文化論集 30) 北海道大学大学院文学研究科:札幌

風間伸次郎 2006.03 「ナーナイ語コンドン方言テキスト」 津曲敏郎編 『環北太平洋の言語』13 北海道大学大学院文学研究科:札幌 pp. 83-126

風間伸次郎 2006.07 「ナーナイ語の形動詞について」 敦賀陽一郎他編 『言語情報学研究報告 11 言語研究におけるコーパス分析と理論の接点』 21 世紀 COE プログラム「言語運用を基盤とする言語情報学拠点」東京外国語大学大学院地域文化研究科:東京 pp. 95-108

風間伸次郎 2007.01 「ツングース諸語の三人称代名詞について」 『東ユーラシア言語研究』第 2 集 大東文化大学 pp. 173-184

風間伸次郎 Kazama, Shinjiro 2007.03 Rosugbu, I.P. 共著 「Bulavinskoe nasledie - mify, legendy i skazki ul' chej Bulavy」 Rosugbu, I.P. and S. Kazama, S. Ogihara eds. 『ブラバの遺産:ブラバ村のウルチャの神話、伝説、物語』(ウルチャ語・ロシア語対訳) 千葉大学文学部:千葉 全 21 頁

風間伸次郎 Kazama, Shinjiro 2007.03 「Rhetorical Questions with Interrogative Markers in Nanai.」 Kawaguchi, Y, T. Takagaki, N. Tomimori and Y. Tsuruga eds. 『Linguistic Informatics and Corpus Linguistics. (Linguistic Informatics VII).』 21st Century COE: Center of Usage-Based Linguistic Informatics Graduate School of Area and Culture Studies. Tokyo University of Foreign Studies:Tokyo pp. 305-321

風間伸次郎 2007.03 「北東アジアの諸言語にかんする注釈つき年代別文献リスト」 津曲敏郎編、白石英才、小野智香子、長崎郁、山越康裕、藤代節との共著、 『環北太平洋の言語』14 北海道大学大学院文学研究科:札幌 pp. 167-246

風間伸次郎 2007.03 『Udihe Texts 3』(ツングース言語文化論集 35) 北海道大学大学院文学研究科:札幌

風間伸次郎 2007.03 『ナーナイの民話と伝説 10』(ツングース言語文化論集 36) 北海道大学大学院文学研究科:札幌

風間伸次郎 2007.03 トーヤ共著 『ソロンの民話と伝説 1』(ツングース言語文化論集 37) 北海道大学大学院文学研究科:札幌

風間伸次郎 2007.03 「ウデヘ語の「複数」を示す要素について」 津曲敏郎編 『環北太平洋の言語』14 北海道大学大学院文学研究科:札幌 pp. 103-118

風間伸次郎 2007.09 「ナーナイ語とウデヘ語の付属語について」 『アジア・アフリカの言語と言語学 2』東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所:東京 pp. 49-83

風間伸次郎 2007.10 「ツングース諸語の三人称代名詞について」 『東ユーラシア言語研究』2 大東文化大学:東京 pp. 173-184

風間伸次郎 2008.01 「アルタイ言語学と環韓国語言語学のための文献解題」 野間秀樹編 『韓国語教育論講座 第 4 巻 文化教育論・翻訳論・文献解題』 くろしお出版 pp. 641-661

風間伸次郎 Kazama, Shinjiro 2008.02 「The 'plural' markers in Udihe.」 Kurebito, Tokusu ed.

『Ambiguity of Morphological and Syntactic Analyses.』 Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa (ILCAA), Tokyo University of Foreign Studies, pp.229-246

風間伸次郎 2008.03 幡早夏・福盛貴弘共編 『清文彙書 一翻字再配列版一』(ツングース言語文化論集 39) 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所:東京 全300頁

風間伸次郎 Kazama, Shinjiro 2008.03 「The Diachronic Development of the Group III of Tungusic Languages」 Kurebito, Tokusu ed.. 『Linguistic Typology of the North』 1 Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa (ILCAA), Tokyo University of Foreign Studies, pp.103-123

風間伸次郎 Kazama, Shinjiro 2008.03 「Alienable Possession Suffixes in Tungusic Languages.」 Kurebito, Tokusu ed.. 『Linguistic Typology of the North』 1 Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa (ILCAA), Tokyo University of Foreign Studies:Tokyo pp.125-140

風間伸次郎 Kazama, Shinjiro 2008.03 「'Third' Person Pronouns in Udihe and Nanai」 Kurebito, Tokusu ed.. 『Linguistic Typology of the North』 1 Research Institute for Languages and Cultures of Asia and Africa (ILCAA), Tokyo University of Foreign Studies:Tokyo pp.141-153

風間伸次郎 2008.03 『Udihe Texts 4』(ツングース言語文化論集 42) 東京外国語大学:東京 全234頁

風間伸次郎 2008.03 『ナーナイの民話と伝説 11』(ツングース言語文化論集 40) 北海道大学大学院文学研究科:札幌

風間伸次郎 2008.03 『ウルチャロ承文芸原文集 4』(ツングース言語文化論集 43) 東京外国語大学:東京

風間伸次郎 2008.03 トーヤ共著 『ソロンの民話と伝説 2』(ツングース言語文化論集 41) 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所:東京

風間伸次郎 2008.10 「ナーナイ語における語用論的研究」(語学教育フォーラム 第16号)寺村政男・久保智之・福盛貴弘編『言語の研究:ユーラシア諸言語からの視座』大東文化大学語学教育研究所 pp.159-168

風間伸次郎 2009.03 「ニブフ語と近隣諸言語との類型的異同・言語接触について」『サハリンの言語世界:北大文学研究科公開シンポジウム報告書』北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター:札幌 pp.127-144

風間伸次郎 2009.03 「オロチ語とウデヘ語の異同について」『語学研究所論集』14号 東京外国語大学語学研究所:東京 pp.1-13

風間伸次郎 2009.03 「ツングース諸語の受身」『語学研究所論集』14 東京外国語大学語学研究所:東京 pp.65-80

風間伸次郎 2009.03 『Udihe Texts 5』(ツングース言語文化論集 44) 東京外国語大学:東京 全233頁

風間伸次郎 2009.03 『Ewen Texts 2(A), (B)』(ツングース言語文化論集 45(A)(B)) 東京外国語大学・東京外国語大学・北海道大学大学院文学研究科

風間伸次郎 2009.04 「ナーナイ語の非人称形動詞について」『アジア・アフリカの言語と言語学 4』東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所:東京

風間伸次郎 2009.04 「ツングース語」『事典 世界のことば 141』、梶茂樹・中島由美・林徹編、大修館書店:東京 pp.36-39

川上淳 2008.06.10 「民族の定義、認定制度必要」(夕刊)『北海道新聞』道東版「ピヤラ」北海道新聞社:札幌

- 川上淳 2008.06.10 「差別の歴史清算する時」(夕刊) 『北海道新聞』道東版「ピヤラ」 北海道新聞社:札幌
- 川上淳 2008.12.09 『夷酋列像』過去・今・未来2」(朝刊) 『朝日新聞』道内版 朝日新聞社:札幌
- 川上淳 2008.12.14 (書評)「森永貴子著 ロシアの拡大と毛皮交易」(朝刊) 『北海道新聞』 北海道新聞社:札幌
- 川上淳 2009.05.12 「アイヌ史研究のいま」(夕刊) 『北海道新聞』道東版「ピヤラ」 北海道新聞社:札幌
- 川上淳 2009.07.17 「日露に翻弄された千島アイヌ」 北海道立北方民族博物館編 『千島列島に生きる アイヌと日露・交流の記憶』(北海道立北方民族博物館第24回特別展環北太平洋の文化IV図録) 北海道立北方民族博物館:網走 pp.13-16
- 川上淳 2009.12.22 『『国の責任』画期的な報告書』(夕刊) 『北海道新聞』道東版「ピヤラ」 北海道新聞社
- 岸上伸啓 Kishigami, Nobuhiro 2009 「Development of Indigenous Art in Canada: Introduction to the Symposium.」 『The Program and Summary of the 34th Annual Conference of the Japanese Association for Canadian Studies』 The Japanese Association for Canadian Studies: Tokyo p.24
- 岸上伸啓 2009.01.25 「コンパニオン・アニマル(ペット動物)」 日本文化人類学会編 『文化人類学事典』丸善:東京 pp.376-377
- 岸上伸啓 2009.01.25 「名前」 日本文化人類学会編 『文化人類学事典』 丸善:東京 pp.404-405
- 岸上伸啓 2009.01.25 「儀礼と再生」 日本文化人類学会編 『文化人類学事典』 丸善:東京 pp.406-407
- 岸上伸啓 Kishigami, Nobuhiro 2009.03 (Book Review) 「Soul Hunters: Hunting, Animism, and Personhood among the Siberian Yukaghirs (Rane Willerslev, Berkeley: University of California Press, 2007).」 『Journal of Anthropological Research』 65 pp.169-171
- 岸上伸啓 2009.03.08 「問題提起:みんぱくにおける実践人類学の展開「文化人類学の社会的活用」」 国立民族学博物館・日本文化人類学会編 『一般公開シンポジウム「人類学の挑戦—これまでとこれから」プログラム・抄録集』 国立民族学博物館:吹田 pp.4-5
- 岸上伸啓 2009.03.31 「文化の安全保障の視点から見た先住民生存捕鯨に関する予備的考察—アメリカ合衆国アラスカ北西地域の事例から」 『国立民族学博物館研究報告』33(4) pp.493-550
- 岸上伸啓 2009.03.31 「先住民—ケベックの原住民の歴史と現状」 小畑精和・竹中豊編『ケベックを知るための54章』 pp.119-126
- 岸上伸啓 2009.03.31 「資料と通信 みんぱくにおける実践人類学の展開」 『民博通信』124 国立民族学博物館:吹田 pp.20-21
- 岸上伸啓 2009.04.22 「自然との共生・極地と温暖化」 国立民族学博物館監修・編集 『旅 いろいろ地球人』 淡交社:京都 p.34
- 岸上伸啓 2009.04.22 「もてなしのかたち・イヌイットのもてなし」 国立民族学博物館監修・編集 『旅 いろいろ地球人』 淡交社:京都 p.114
- 岸上伸啓 2009.04.22 「移動する・氷上の移動」 国立民族学博物館監修・編集 『旅 いろいろ地球人』 淡交社:京都 pp.150

- 岸上伸啓 2009. 04. 25 「第 20 章 カナダ先住民」 日本カナダ学会編 『はじめて出会うカナダ』 有斐閣: 東京 pp. 206-215
- 岸上伸啓 2009. 04. 25 「第 25 章 ユーコン準州、北西準州、ヌナヴト準州」 『はじめて出会うカナダ』 有斐閣: 東京 pp. 256-264
- 岸上伸啓 2009. 05. 01 「アラスカ先住民イヌピアックの捕鯨とクジラ料理」 『Vesta』 74 味の素食の文化センター: 東京 pp. 54-56
- 岸上伸啓 2009. 05. 29 「イヌイト・アートの歴史的展開と現状—滑石彫刻と版画を中心に」 『日本文化人類学会第 43 回研究大会準備委員会編『日本文化人類学会第 43 回研究大会プログラム・研究発表要旨集』 国立民族学博物館: 吹田 pp. 193.
- 岸上伸啓 2009. 06. 29 「アラスカ先住民イヌピアックとホッキョククジラの関係の変化」 『人文地理』61(3) pp. 282-283
- 岸上伸啓 2009. 06. 30 「ひと イヌイトの伝統捕鯨を研究する動物考古学者 ジェイムズ・サベールさん」 『民博通信』 125 国立民族学博物館: 吹田 p. 28
- 岸上伸啓 2009. 09. 01 「特別展 自然のこえ 命のかたち: カナダ先住民の生みだす美」 国立民族学博物館編 『月刊みんぱく』 33(9)/384 国立民族学博物館: 吹田 pp. 2-3
- 岸上伸啓 2009. 09. 01 「「カナダ文明博物館」の逸品を愛でる機会」 国立民族学博物館編 『月刊みんぱく』 33(9)/384 国立民族学博物館: 吹田 p. 4
- 岸上伸啓 2009. 09. 01 「表紙モノ語り イヌイトの版画「夏のふくろう」」 国立民族学博物館編 『月刊みんぱく』 33(9)/384 国立民族学博物館: 吹田 p. 11
- 岸上伸啓 2009. 09. 04 「自然と生命を尊ぶ共生の思想: カナダ先住民の環境、歴史、そして生き方」 国立民族学博物館編 『自然のこえ 命のかたち: カナダ先住民の生みだす美』 昭和堂: 京都 pp. 6-10
- 岸上伸啓 2009. 09. 08 「(15)みんぱくのオタカラ: イヌイト版画」 『みんぱく e-news』 99
- 岸上伸啓 Kishigami, Nobuhiro 2009. 09. 11 「The Contemporary Inuit in North and South of Canada: Roles of Museums/Community Centers for Keeping Lifestyles and Identities of the Inuit Alive.」 『The Program and Abstract of The 4th Conference of Pacific Asia Network of Canadian Studies.』 The PANCS Organizing Committee: Osaka pp. 25-26
- 岸上伸啓 2009. 09. 12 「カナダにおける先住民アートの展開: シンポジウムの序論」 『日本カナダ学会第 34 回年次研究大会プログラム・抄録集』 日本カナダ学会 p. 23
- 岸上伸啓 2009. 10. 07 「人、アートと出会う (1) 極北のアーティスト」 『毎日新聞 夕刊』 毎日新聞社
- 岸上伸啓 2009. 10. 14 「(16)みんぱくのオタカラ: トーテムポール」 『みんぱく e-news』 100
- 岸上伸啓 2009. 10. 28 「[フォーラム: ひとと動物をめぐる地理学・地域研究の現在] アラスカ先住民イヌピアックとホッキョククジラの関係の歴史的变化」 『人文地理』 61(6) pp. 436-439
- 岸上伸啓 2009. 11. 10 「北アメリカにおけるもうひとつの先住民族問題: アメリカとカナダの非公認先住民族」 窪田幸子、野林厚志編 『「先住民」とはだれか』 世界思想社: 京都 pp. 134-154
- 岸上伸啓 2009. 11. 10 (編集) 『開発と先住民』 (みんぱく実践人類学シリーズ 7) 明石書店: 東京
- 岸上伸啓 2009. 11. 10 「総論: 開発と先住民」 岸上伸啓編 『開発と先住民』 (みんぱく実践人類学シリーズ 7) 明石書店: 東京 pp. 13-33

- 岸上伸啓 2009. 11. 10 「カナダにおける都市イヌイットの社会経済開発」 岸上伸啓編『開発と先住民』(みんぱく実践人類学シリーズ7) 明石書店:東京 pp. 331-353
- 岸上伸啓 2009. 12 「第34回年次研究大会を終えて」 『日本カナダ学会ニューズレター』85 p. 1
- 岸上伸啓 2009. 12 「基調講演(第1日午後)」 『日本カナダ学会ニューズレター』85 pp. 1-2
- 岸上伸啓 2009. 12 「シンポジウム「カナダにおける先住民アートの展開ーイヌイットと北西海岸先住民族のアート伝統」」 『日本カナダ学会ニューズレター』85 pp. 6-7
- 岸上伸啓 2009. 12. 01 「生きもの博物誌 イヌイットの暮らしを支える<ワモンアザラシ>」 国立民族学博物館編 『月刊みんぱく』33(12)/387 国立民族学博物館:吹田 pp. 18-19
- 岸上伸啓 2009. 12. 02 「暖をとる(1) 極北の紅茶」 『毎日新聞 夕刊』 毎日新聞社
- 岸上伸啓 2009. 12. 19 「2009年という年」 『日本カナダ学会関西地区便り』80(2)/ p. 3
- 岸上伸啓 Kishigami, Nobuhiro 2009. 12 「Voices from the Land, Visions of Life: Beauty Created by the Indigenous Peoples of Canada - Special Exhibition September 10 - December 8, 2009」 『MINPAKU Anthropology Newsletter』29 pp. 10-11
- 熊木俊朗 1995. 03. 30 「第5章第1節 土器」 内山真澄編『遺跡発掘調査報告書 利尻富士町役場』 北海道利尻富士町教育委員会:利尻富士 pp. 17-56
- 熊木俊朗 1999. 03. 31 白杵勲(奈良国立文化財研究所研究員)・V. デリューギン(ハバロフスク郷土誌博物館研究員)・N. スビジェボイ(ハバロフスク郷土誌博物館研究員)共著 「1998年度アムール河口部(ニコラエフスク地区)一般調査報告」 北海道考古学会編『北海道考古学』35 北海道考古学会:札幌 pp. 33-46
- 熊木俊朗 2000. 03. 31 「第7章第2節 香深井5遺跡出土「元地式」土器について」 内山真澄編『北海道礼文町香深井5遺跡発掘調査報告書(2)』 北海道礼文町教育委員会:礼文 pp. 159-167
- 熊木俊朗 2000. 03. 31 「近年のオホーツク文化研究展望:北海道北部・サハリン・アムール河口部の土器研究を中心に」 祭祀考古学会編集委員会編『情報祭祀考古』16・17 合併号 祭祀考古学会:東京 pp. 37-42
- 熊木俊朗 2000. 04. 15 「下田ノ沢式土器の再検討:続縄文時代前半期の北海道東部における土器型式の動態」 物質文化研究会編『物質文化』69 物質文化研究会:東京 pp. 40-58
- 熊木俊朗 2000. 05. 20 「青森県八戸市出土『北大式』注口土器の再紹介」 北方懇話会編『北方探究』2 北方懇話会:岩見沢 pp. 6-11
- 熊木俊朗 2001. 12. 25 「後北C2・D式土器の展開と地域差:トコロチャシ跡遺跡出土土器の分析から・続縄文土器における文様割りつけ原理と文様単位(2)」 宇田川洋・熊木俊朗編『トコロチャシ跡遺跡』 東京大学大学院人文社会系研究科:東京 pp. 176-217
- 熊木俊朗 2001. 12. 25 宇田川洋(東京大学大学院人文社会系研究科教授)共編著『トコロチャシ跡遺跡:北海道常呂川下流域におけるアイヌ文化の遺跡の調査』 東京大学大学院人文社会系研究科:東京 全252頁
- 熊木俊朗 2002. 02. 15 宇田川洋(東京大学大学院人文社会系研究科教授)共編著『トコロチャシ跡遺跡群の調査:トコロチャシ跡遺跡・同オホーツク地点及び「常呂遺跡」の史跡整備に関する調査概要報告』 東京大学大学院人文社会系研究科附属常呂実習施設:常呂 全65頁
- 熊木俊朗 2002. 05. 10 「北海道常呂町、オホーツク文化集落遺跡の調査」 西秋良宏編『Ouroboros 東京大学総合研究博物館ニュース』17 東京大学総合研究博物館:東京 4-7頁
- 熊木俊朗 2002. 05. 10 福田正宏(筑波大学大学院歴史・人類学研究科博士課程)・B. A. デリューギン(ハ

パロフスク郷土誌博物館研究員)・江田真毅(東京大学大学院農学生命科学研究科博士課程)共著「2000年度間宮海峡沿岸部(ソビエツカヤ・ガバン周辺)考古学的調査」北方懇話会編『北方探究』4 北方懇話会:岩見沢 pp. 38-63

熊木俊朗 2002. 05. 16 「オホーツク人と死」西秋良宏・宇田川洋編『東京大学コレクションXIII 北の異界:古代オホーツクと氷民文化』東京大学総合研究博物館:東京 pp. 121-129

熊木俊朗 2003. 03. 31 宇田川洋(東京大学大学院人文社会系研究科教授)共編著 宇田川洋・熊木俊朗編『居住形態と集落構造から見たオホーツク文化の考古学的研究』東京大学大学院人文社会研究科附属常呂実習施設:常呂 全91頁

熊木俊朗 2003. 03. 31 臼杵勲(札幌学院大学助教授)共著「ニコラエフスク空港1遺跡の堅穴住居址と出土資料」天野哲也他編『北海道大学総合博物館研究報告』1 北海道大学総合博物館:札幌 pp. 53-60

熊木俊朗 2003. 07. 10 「道東北部の続縄文文化」野村崇・宇田川洋編『新北海道の古代2:続縄文・オホーツク文化』北海道新聞社:札幌 pp. 50-69

熊木俊朗 2004. 03. 13 「鈴谷式土器編年再論」宇田川洋先生華甲記念論文集刊行実行委員会編『宇田川洋先生華甲記念論文集 アイヌ文化の成立』北海道出版企画センター:札幌 pp. 167-189

熊木俊朗 2004. 03. 31 「北海道考古学の課題と展望 続縄文文化(道東・道北部)」北海道考古学会編『北海道考古学』40 北海道考古学会:札幌 pp. 77-89

熊木俊朗 2005. 03 「弥生時代中期併行の北海道の続縄文土器(2)北海道東部」石川日出志編『関東・東北弥生土器と北海道続縄文土器の広域編年』明治大学文学部考古学研究室:東京 pp. 49-54

熊木俊朗 2005. 03. 31 「道東北部の炭素14年代集成(続縄文・オホーツク・擦文期)」臼杵勲・出穂雅実編『科学研究費補助金基盤研究(B)(2)北海道における古代から近世の遺跡の暦年代 平成16年度研究成果報告書』札幌学院大学人文学部:江別 pp. 12-16

熊木俊朗 2005. 06. 01 「江の浦式土器編年の再検討」熊木俊朗、福田正宏編『間宮海峡先史文化の復元と日本列島への文化的影響』東京大学大学院人文社会研究科附属北海文化研究常呂実習施設:常呂 pp. 165-191

熊木俊朗 2005. 06. 01 福田正宏(東京大学大学院人文社会系研究科助手)共編『間宮海峡先史文化の復元と日本列島への文化的影響』東京大学大学院人文社会研究科附属常呂実習施設:常呂 全235頁

熊木俊朗 2006. 03. 31 『ところ文庫22 遺跡の森の考古学』常呂町郷土研究同好会:北見 全86頁

熊木俊朗 2006. 06. 30 「多彩な青銅製装飾品」文化庁編『発掘された日本列島2006 新発見考古速報』朝日新聞社:東京 p. 71

熊木俊朗 2007. 02. 20 「サハリン出土オホーツク土器の編年:伊東信雄氏編年の再検討を中心に」前川要編『北東アジア交流史研究:古代と中世』塙書房:東京 pp. 173-199

熊木俊朗 2007. 02. 20 「オホーツク海北西岸・アムール河口部・サハリンの土器編年図」前川要編『北東アジア交流史研究:古代と中世』塙書房:東京 pp. 536-538

熊木俊朗 2007. 03. 31 「4. 北海道東北部の年代測定結果とその検討」臼杵勲編『北海道における古代から近世の遺跡の暦年代 研究成果報告書』札幌学院大学人文学部:北海道江別 pp. 34-38

熊木俊朗 2008. 02. 29 「中世のサハリン」『アジア遊学』107 勉誠出版:東京 pp. 98-107

熊木俊朗 2008. 02. 29 「遺跡紹介 セディフ遺跡群」『アジア遊学』107 勉誠出版:東京 pp. 128-130

- 熊木俊朗 2008.03.05 「II-3 測定結果とその検討」 白杵勲編 『札幌学院大学平成 19 年度研究促進奨励金 続縄文文化・擦文文化の暦年代研究 成果報告書』 札幌学院大学人文学部:江別 pp.15-19
- 熊木俊朗 2008.03.31 (書評)「武田 修著『[日本の遺跡] 13 常呂遺跡群』」 北海道考古学会編 『北海道考古学』44 北海道考古学会:札幌 pp.53-54
- 熊木俊朗 2008.03.31 高橋健(東京大学大学院人文社会系研究科 助教) 共編著 『サハリン中世遺跡のデータベース作成』 東京大学大学院人文社会系研究科附属常呂実習施設:北見 全 37 頁
- 熊木俊朗 2008.03.31 「続縄文文化」 斜里町立知床博物館編 『知床の考古』(しれとこライブラリー9) 北海道斜里町・斜里町教育委員会:斜里 pp.140-148
- 熊木俊朗 2008.07.31 高橋健(東京大学大学院人文社会系研究科 助教) 共編著『世界遺産と常呂遺跡』 東京大学大学院人文社会系研究科附属常呂実習施設:北海道北見 全 77 頁
- 熊木俊朗 2008.10.20 「続縄文期における北方文化の構図」 明治大学文学部考古学研究室編 『地域と文化の考古学 2』 六一書房:東京 pp.39-54
- 熊木俊朗 2009.03.19 「オホーツク土器の編年と各遺構の時期について」 米村衛編 『史跡最寄貝塚』 網走市教育委員会:網走 pp.303-319
- 呉人恵 2009.02 『コリヤーク言語民族誌』 北海道大学出版会:札幌 全 379 頁
- 呉人恵 2009.03 「コリヤーク語の形容詞:その動詞的および名詞的性格と類型論的位置づけ」 『アジア・アフリカ言語文化研究』77 東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所:東京 pp.35-62
- 呉人恵 2009.04 「コリヤーク語」 梶茂樹、中島由美、林徹編 『世界の言語事典』 大修館書店:東京 pp.16-19
- 河野本道 2009.01.01 「体制に依存:コントロールされた北海道ウタリ協会系諸団体の歴史」 『Hoppo Journal』 pp.28-31
- 越田賢一郎 2009.03.20 「<事例報告>北海道泊村堀株 1 遺跡」 狭川真一編 『日本の中世墓』 高志書院:東京 pp.321-326
- 越田賢一郎 2009.06.20 「流鬼:7 世紀の東北アジア」 『加藤晋平先生喜寿記念論文集刊行委員会『物質文化史学論聚』 北海道出版企画センター:札幌 pp.203 - 214
- 越田賢一郎 2009.09 「江別兵村出土刀の X 線 CT 撮影による解析について」 『北大植物園研究紀要』9 北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園:札幌 pp.21-28
- 越田賢一郎 2009.11.20 「北海道」 『中世の墓と銭』 出土銭貨研究会:堺 pp.41-53
- 齋藤君子 2009.03 「ロシア口承文芸学の課題と使命」 『口承文芸研究』32 日本口承文芸学会:東京 pp.134-138
- 齋藤君子 2009.04 「プーチンの小噺」 『なろうど』58 ロシア・フォークロア談話会:東京 pp.42 - 43
- 齋藤君子 2009.06.10 (翻訳)プロップ著『魔法昔話の研究 口承文芸学とは何か』 講談社:東京 全 373 頁
- 齋藤君子 2009.07 「死の習俗をめぐって:ロシア」 『日本民話の会通信』204 日本民話の会:東京 pp.9-10
- 齋藤君子 2009.10 「日本の昔話は、周辺の国の昔話と似ていますか? 4. シベリアの場合」 『子どもと昔話』41 pp.35-37

- 齋藤君子 2009.10 「世界の昔話・日本の昔話2 『カラスとフナ』(シベリア) / 『かちかちやま』(日本)」 『子どもと昔話』41 pp.38-45
- 齋藤君子 2009.10 「ロシアの葬礼と民間伝承」 『なろうど』58 ロシア・フォークロア談話会:東京 pp.11-19
- 齋藤君子 2009.10 「言葉の調味料をふりかけて」 『なろうど』58 ロシア・フォークロア談話会:東京 pp.40-42
- 齋藤君子 2009.11 「『大きなかぶ』とロシア昔話」 石井正己編 『昔話と絵本』 三弥井書店:東京 pp.124-132
- 齋藤玲子 2009.03.25 「<事例報告>特別展「トーテムの物語～北西海岸インディアンのからしと美」における協力」 北海道立北方民族博物館編 『北太平洋の文化:北方地域の博物館と民族文化3』(第23回北方文化シンポジウム報告書) 財団法人北方文化振興協会:網走 pp.25-28
- 齋藤玲子 2009.03.31 「<資料紹介>北海道立北方民族博物館所蔵のイヌイトの版画について」 北海道立北方民族博物館編 『北海道立北方民族博物館研究紀要』18 北海道立北方民族博物館:網走 pp.95-110
- 齋藤玲子 2009.03.31 (書評)「谷本一之著『オーロラの下に生きる人々 北の館長エッセイ』」 『北海道民族学』5 北海道民族学会:札幌 pp.37-39
- 齋藤玲子 2009.09.01 「版画に登場する個性的な生き物たち」 国立民族学博物館編 『月刊みんぱく』33(9)/384 国立民族博物館:吹田 pp.6-7
- 齋藤玲子 2009.09.04 「北西海岸先住民のアートの世界 「象徴の森」のルネッサンス」 国立民族学博物館編 『自然のこえ 命のかたち—カナダ先住民の生みだす美』 昭和堂:京都 pp.62-75
- 齋藤玲子 2009.12.28 「アートの「発見」から商品化まで 共同研究:カナダにおける先住民芸術の歴史的展開と知的所有権問題 —国立民族学博物館所蔵の北西海岸インディアンとイヌイトの版画の整理と分析を通して」 『民博通信』127 国立民族博物館:吹田 pp.20-21
- 佐々木史郎 Sasaki, Shiro 2008 「Межэтнические браки коренных народов Нижнего Амура и Сахалина.」 『Россия и АТР No.2 (60) 2008』 Институт ИАЭ НДВ ДВО РАН: Владивосток. pp. 64-74
- 佐々木史郎 2008.11 「東アジアの歴史世界におけるアイヌの役割」 榎森進・小口雅史・澤登寛聡編 『北東アジアのなかのアイヌ世界 アイヌ文化の成立と変容—交易と交流を中心として 下』 岩田書院:東京 pp.51-76
- 佐々木史郎 2008.11.27 「「夷酋列像」過去・今・未来3」 北の文化 『朝日新聞』 朝刊 朝日新聞社
- 佐々木史郎 2008.12.26 高倉浩樹共編 『ポスト社会主義人類学の射程』(国立民族学博物館調査報告78) 国立民族学博物館:吹田
- 佐々木史郎 Sasaki, Shiro 2009.01.20 『Human-Nature Relations and the Historical Backgrounds of Hunter-Gatherer Cultures in Northeast Asian Forests. Russian Far East and Northeast Japan.』 (Senri Ethnological Studies 72). National Museum of Ethnology: Osaka 全168頁
- 佐々木史郎 2009.03.01 「権力の象徴だったがゆえの受難」 国立民族学博物館編 『月刊みんぱく』33(3)/378 国立民族博物館:吹田 pp.20-21
- 佐々木史郎 2009.03.31 (書評)「森永貴子著『ロシアの拡大と毛皮交易 16～19世紀シベリア・北太平洋の商人世界』」 『北方人文研究』2009(2) 北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター:札幌 pp.101-105

- 笹倉いる美 2009.03.31 「ウイльта文化聞き書きノート3:クマ送りに使われた首飾り」 北海道立北方民族博物館編 『北海道立北方民族博物館研究紀要』18 北海道立北方民族博物館:網走 pp.73-76
- 笹倉いる美 2009.03.31 (書評) 「池上二良他編『ウイльта語を話しましょう』」 『北海道民族学』5 北海道民族学会:札幌 pp.30-33
- 白石英才 Shiraiishi, Hidetoshi 2009 「Modeling Initial Weakenings.」 Nasukawa, Kuniya and Phillip Backley eds. 『Strength Relations in Phonology.』 Mouton de Gruyter pp.183-220
- 白石英才 Shiraiishi, Hidetoshi 2009 「On the Alternation between CVCVC and CVCC forms in Nivkh.」 津曲敏郎編 『サハリンの言語世界:北大文学研究科公開シンポジウム報告書』 pp. 85-94
- 白石英才 2009 「私のフィールドノートから:ニヴフ語」 『言語』 大修館書店:東京 pp.102-107
- 白石英才 Shiraiishi, Hidetoshi 2009 「Quantitative Adjustment in Nivkh.」 Young-Se Kang et al. eds. 『Current Issues in Linguistic Interfaces.』 2 Hankookmunhwasa pp.321-332
- 白石英才 2009 Galina Lok 共著 『ニヴフ語音声資料6:コンスタンチン ヤコブレヴィッチ・アグニョン』 札幌学院大学人文学部:江別
- スチュアート ヘンリ(本多俊和) 2007 「原住民運動:歴史・発展・現状及未来」 『中国農業大学学報(社会科学版)』24(2) 中国農業大学 pp.68-77
- スチュアート ヘンリ(本多俊和) 2007 「原住民運動十歳回顧:合作与紛争」 『中国農業大学学報(社会科学版)』24(4) 中国農業大学 pp.129-137
- スチュアート ヘンリ(本多俊和) 2008.03 内堀基光共著 「文化人類学の導入」 『文化人類学』(新版) 放送大学教育振興会:東京 pp.10-20
- スチュアート ヘンリ(本多俊和) 2008.03 「人種、そして民族」 『文化人類学』(新版) 放送大学教育振興会:東京 pp.21-32
- スチュアート ヘンリ(本多俊和) 2008.03 「環境のなかでの人間」 『文化人類学』(新版) 放送大学教育振興会:東京 pp.70-83
- スチュアート ヘンリ(本多俊和) 2008.03 「極北の民族イヌイトにみる経済開発と文化再生」 『立教アメリカン・スタディーズ』30 立教大学アメリカ研究所:東京 pp.21-36
- スチュアート ヘンリ(本多俊和) 2008.09 「民族資料論:博物館における民族表象」 佐々木利和、本多俊和、湯山賢一編 『博物館資料論』 放送大学教育振興会:東京 pp.224-233
- スチュアート ヘンリ(本多俊和) 2009 「エスキモー」 『ブリタニカ国際大百科事典』 オンライン百科事典、TBSブリタニカ
- スチュアート ヘンリ(本多俊和) 2009.01 「先住民」 日本文化人類学会編 『文化人類学事典』 丸善:東京 pp.172-145
- スチュアート ヘンリ(本多俊和) 2009.01 「遊び」 日本文化人類学会編 『文化人類学事典』 丸善:東京 pp.354-357
- スチュアート ヘンリ(本多俊和) 2009.03 「イヌイトの犬樞文化」 秋篠宮文仁、林良博編 『家畜の文化』 岩波書店:東京 pp.150-158
- スチュアート ヘンリ(本多俊和) 2009.07 「エスキモー語」とアイデンティティ:カナダとグリーンランドの比較、 『<http://www.chikyukotobamura.org/forum/salon090711s.html>』

スチュアート ヘンリ(本多俊和) 2009.07.30 「若い世代の声 反映して」 『北海道新聞』北海道新聞社:札幌

スチュアート ヘンリ(本多俊和) 2009.09.04 「大地と近代世界システムのはざまに生きる:カナダ・イヌイトの歴史と現代」 国立民族学博物館編『自然のこえ 命のかたち』 昭和堂:京都 pp.76-78

スチュアート ヘンリ(本多俊和) 2009.10 「先住民の歴史と現状」 窪田幸子、野林厚志編 『「先住民」とはだれか』 世界思想社:京都 pp.16-37

スチュアート ヘンリ(本多俊和) Stewart, Henry. (Honda, Shunwa) 2009.10.14 「Metis History may Help Indigenous People in Japan」 『Indian Country Today』 Four Directions Media: Oneida

高倉浩樹 2008 佐々木史郎共編 『ポスト社会主義人類学の射程』 国立民族学博物館:吹田

高倉浩樹 2008 『地域分析と技術移転:「はまる」「みる」「動かす」視点と地域理解』(東北アジア研究シリーズ9) 東北大学東北アジア研究センター:仙台

高倉浩樹 2008 「序論:地域研究と技術移転の遭遇」 高倉浩樹編 『地域分析と技術移転の接点:「はまる」「みる」「うごかす」視点と地域理解』 東北大学東北アジア研究センター:仙台 pp.1-12

高倉浩樹 2008 「ポスト社会主義下における牧畜生産の市場経済適応過程とその文化的位相:東シベリア・サハ人の牛馬飼養文化の変容」 『ポスト社会主義人類学の射程』(国立民族学博物館調査報告 78) pp.501-534

高倉浩樹 Takakura, Hiroki 2008 「A Wise Hunter as the Image of Father among the Arctic Pastoralists Sakha: Masculine Identity, Subsistence, and Indigenous Minority.」 『Abstracts 6th International Congress of Arctic Social Sciences』 pp.189-190

高倉浩樹 2008 「エヴェンキ、トナカイ飼育の崩壊と狩猟への転換」 『季刊民族学』124 財団法人千里文化財団:吹田 pp.8-13

高倉浩樹 2008 「東北アジア海域史のなかのアイヌ民族とシベリア先住民の交易」 『平成19年度普及啓発セミナー報告集』 財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構:札幌 pp.23-30

高倉浩樹 2008 「生業文化類型と地域表象:シベリア地域研究における人類学の方法と視座」 宇山智彦編 『講座スラブ・ユーラシア学 第二巻 地域認識:多民族空間の構造と表象』 講談社:東京 pp.175-201

高倉浩樹 2008 「市場経済化におけるシベリア先住民アグリビジネスの組織化と経営をめぐる実証的研究」 財団法人平和中島財団 国際学術研究助成 研究成果報告書平成17-19年度

高倉浩樹 2008 「序 ポスト社会主義人類学の射程と役割」 『ポスト社会主義人類学の射程』(国立民族学博物館調査報告78) pp.1-30

高倉浩樹 2008 「先住民研究における人類学の領分:国際機関・環境主義・社会正義」 『日本文化人類学会第42回研究大会プログラム・研究発表要旨』 p.62

高倉浩樹 2008 「新刊紹介 国立民族学博物館調査報告78号 ポスト社会主義人類学の射程」 『民博通信』122 国立民族学博物館:吹田 p.26

高倉浩樹 2009 斎藤秀一共編 『デジタル写真と人類学:東北アジア研究センター写真ワークショップの記録2008-2009』 東北大学東北アジア研究センター:仙台

高倉浩樹 2009 「シベリアの狩猟・牧畜をめぐる歴史と現代ロシア」 『朝倉世界地理講座 第二巻 東北アジア』 pp.301-313

高倉浩樹 2009 「エスニック・マイノリティの覚醒、伝統文化への傾斜：社会主義・多民族統治・国民国家をめぐる」 『朝倉世界地理講座 第二巻 東北アジア』 pp. 344-354

高倉浩樹 Takakura, Hiroki 2009 「The Concept of Manhood in Post-socialist Siberia: The Sakha Father as a Wise Hunter and a Pastoralist.」 『Sibirica』 8(1) pp. 45-67

高倉浩樹 2009 「民族誌の書き方」 日本文化人類学会編 『文化人類学事典』 丸善:東京

高倉浩樹 2009 「先住民問題と人類学:国際社会と日常実践の間における承認をめぐる闘争」 窪田幸子、野林厚志編 『「先住民」とはだれか』 世界思想社:京都 pp. 38-60

高倉浩樹 2009 (書評)「海がつかないだ社会の形成:『東アジア内海世界の交流史』」 『民博通信』 124 国立民族学博物館:吹田 pp. 24-25

辻井達一 2009.01 「続・湿地と湿地林に関する十二章:13 湿地の建築学」 北方林業会編集委員会編 『北方林業』 718 北方林業会:札幌 pp. 18-21

辻井達一 2009.02 「続・湿地と湿地林に関する十二章:14 湿地の犯罪学」 北方林業会編集委員会編 『北方林業』 719 北方林業会:札幌 pp. 19-22

辻井達一 2009.03.01 高田雅之(北海道環境科学研究センター・環境 GIS 科長) 共著 「続・湿地と湿地林に関する十二章:15 湿地の人類学」 北方林業会編集委員会編 『北方林業』 720 北方林業会:札幌 pp. 19-22

辻井達一 2009.03.31 宮藤秀之(北海道開発局旭川開発建設部サンルダム建設事業所長) 共著 天塩川河川環境調査グループ編 『天塩川レポート』 (財) 河川防災研究センター:札幌 全 32 頁

辻井達一 2009.04.01 「続・湿地と湿地林に関する十二章:16 湿地の文化学」 北方林業会編集委員会編 『北方林業』 721 北方林業会:札幌 pp. 19-22

辻井達一 2009.05.01 「続・湿地と湿地林に関する十二章:17 湿地の経済学」 北方林業会編集委員会編 『北方林業』 722 北方林業会:札幌 pp. 19-22

辻井達一 2009.08 「続・湿地と湿地林に関する十二章:20 湿地の食品学-山編」 北方林業会編集委員会編 『北方林業』 725 北方林業会:札幌 pp. 19-22

辻井達一 2009.09 高田雅之(北海道立環境科学研究センター・環境 GIS 科長) 共著 「続・湿地と湿地林に関する十二章:21 湿地の食品学-海編」 北方林業会編集委員会編 『北方林業』 726 北方林業会:札幌 pp. 19-22

辻井達一 2009.10 高田雅之(北海道立環境科学研究センター・環境 I G S 科長) 共著 「続・湿地と湿地林に関する十二章:22 湿地の発酵学」 北方林業会編集委員会編 『北方林業』 727 北方林業会:札幌 pp. 20-23

辻井達一 2009.12 高田雅之(北海道立環境科学研究センター・環境 GIS 科長) 岡田 操 ((株) 水工リサーチ専務取締役) 共著 「続・湿地と湿地林に関する十二章:24 湿地の観光学-1 (海外編)」 北方林業会編集委員会編 『北方林業』 729 北方林業会:札幌 pp. 17-20

津曲敏郎 2009.03 (編集) 『サハリンの言語世界: 北大文学研究科公開シンポジウム報告書』 北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター:札幌 全 156 頁

津曲敏郎 2009.03 「サハリンの言語世界: 単語借用から見る」 津曲敏郎編 『サハリンの言語世界: 北大文学研究科公開シンポジウム報告書』 北海道大学大学院文学研究科北方研究教育センター:札幌 pp. 1-10

津曲敏郎 Tsumagari, Toshiro 2009.03 「Grammatical Outline of Uilta (Revised).」 『Journal of the Graduate School of Letters』 4 pp. 1-21

津曲敏郎 Tsumagari, Toshiro 2009.03 「A Sketch of Solon Grammar.」 『北方人文研究』 2. 北海道大学

大学院文学研究科北方研究教育センター：札幌，pp. 1-21.

手塚薫 Tezuka, Kaoru 2009. 01. 20 「Ainu Sea Otter Hunting from the Perspective of Sino-Japanese Trade」 Sasaki, Shiro ed. 『Senri Ethnological Studies』72 National Museum of Ethnology:Osaka, pp. 117-131

手塚薫 2009. 02. 21 B. フィッツヒュー（ワシントン大学人類学部准教授）、V. シュービン（サハリン州郷土博物館副館長）共著 「千島列島への移住と適応：KBP2008 の成果から」佐藤宏之編、『第10回北アジア調査研究報告会』北アジア調査研究報告会実行委員会：東京 pp. 29-32

手塚薫 2009. 03 「千島列島のアイヌ文化」『平成20年度普及啓発セミナー報告集』財団法人アイヌ文化振興・研究推進機構：札幌 pp. 73-80

手塚薫 2009. 03. 31 添田雄二（北海道開拓記念館学芸員）共著 「千島列島における環境変動と居住史の関係解明に向けて：2008年KBP調査の成果から」北海道開拓記念館編『北海道開拓記念館研究紀要』37北海道開拓記念館：札幌 pp. 43-58

手塚薫 Tezuka, Kaoru 2009. 03. 31 「Interaction between the Ainu of Hokkaido and Honshu Japanese during the Past 1,000 Years: Use Pattern Analysis of Wooden Artefacts from the Ishikari Lowland.」Ikeya, Kazunobu, Ogawa, Hidefumi, MITCHELL, Peter et al eds. 『Senri Ethnological Studies』73 National Museum of Ethnology:Osaka pp. 179-201

手塚薫 2009. 07. 17 「千島列島の国際学術調査最前線」北海道立北方民族博物館編『千島列島に生きる アイヌと日露・交流の記憶』（北海道立北方民族博物館第24回特別展環北太平洋の文化IV図録）北海道立北方民族博物館：網走 pp. 27-29

百々幸雄 Dodo, Yukio 2009. 04 川久保善智（佐賀大学助教）共著 「Interpretation of Craniometric Variation in Northeastern Japan, the Tohoku Region」『Anthropological Science』117(1) pp. 57-65

百々幸雄 2009. 09 松村博文（札幌医科大学准教授）共著 「Dental Characteristics of Tohoku Residents in Japan」『Anthropological Science』117(2) pp. 95-105

百々幸雄 2009. 12 川久保善智（佐賀大学助教）共著 「東北地方にアイヌの足跡を辿る：発掘人骨頭蓋の計測的・非計測的研究」『Anthropological Science (Japanese Series)』117(2) pp. 65-87

中田篤 2009. 03. 31 「春営地におけるツァータンのトナカイ放牧について」『北海道民族学』5北海道民族学会：札幌 pp. 1-14

中田篤 2009. 03. 31 「資料紹介北海道立北方民族博物館所蔵、ツァータンのシャマン衣装について」北海道立北方民族博物館編『北海道立北方民族博物館研究紀要』18北海道立北方民族博物館：網走 pp. 111-116

中田篤 2009. 11. 10 「モンゴル国におけるトナカイ牧畜の開発と現在」『開発と先住民』明石書店：東京 pp. 115-136

中村和之 2009. 01. 04 「制銭か？ 鏹銭か？ 涌元古銭の永楽通宝」『函館新聞』函館新聞社：函館

中村和之 2009. 04. 30 菊池俊彦共解説・監修 「O. Yu. デヂャーヒン著 7～14世紀におけるサハリン諸民族の対外関係（上）」『北海道・東北史研究2009（通巻5号）』北海道出版企画センター：札幌 pp. 23-44

中村和之 2009. 05. 16 「明代の蝦夷錦発見—十三湊でも交易か」『東奥日報』東奥日报社：青森

中村和之 2009. 05. 30 「蝦夷錦、北方での清朝と日本の交流」岡田英弘編『別冊環16：清朝とは何か』藤原書店：東京 pp. 262-270

中村和之 2009. 05. 31 高橋直樹他共著 「知内町涌元古銭の調査—第1報」『出土銭貨』第29号、出土銭貨研究会：下関 pp. 95-100

中村和之 2009. 08. 30 (編集)『国際シンポジウム「間宮林蔵が見た世界」資料集』「間宮林蔵の大陸の旅200年」実行委員会: 函館 全44頁

中村和之 2009. 11. 30 小田寛貴共著「ヌルガン都司の設置と先住民との交易: 銅雀台瓦硯と蝦夷錦をめぐる」天野哲也・池田榮史・臼杵勲編『中世東アジアの周縁世界』同成社: 東京 pp. 179-189

中村和之 2009. 11. 30 「サンタン交易路の成立」天野哲也・池田榮史・臼杵勲編『中世東アジアの周縁世界』同成社: 東京 pp. 25-27

森俊 2009. 01 「富山県における熊の骨利用について」『とやま民俗』71 富山民俗の会: 富山 pp. 10-13

森俊 2009. 03 「日本海沿岸域の大型魚類・哺乳類の捕獲と流通」中井精一、永森理一郎編『日本海総合研究プロジェクト豊饒の海: 日本海大型ほ乳類の生態と民俗』富山大学人文学部日本語学研究室: 富山 pp. 10-17

森俊 2009. 03 「富山民俗の会の現状と課題及び対策」『加能民俗研究』40 加能民俗の会: 石川 pp. 40-41

森俊 2009. 06 「富山県黒部市福平における猟犬の民俗: 越後源一家の場合」『西郊民俗』207 西郊民俗談話会: 東京 pp. 28-30

森俊 2009. 09 「熊皮の伝承」『とやま民俗』72 富山民俗の会: 富山 pp. 8-10

森俊 2009. 10 「湖底に沈んだムラの穴熊狩り: 富山県旧東砺波郡上平村桂の場合」『富山市日本海文化研究所報』43 富山市日本海文化研究所: 富山 pp. 1-5

山崎幸治 2009. 02 加藤克他共編『teetasinrit tekurukoci 先人の手あと 北大所蔵アイヌ資料: 受けつぐ技』北海道大学総合博物館、北海道大学アイヌ・先住民研究センター: 札幌 全102頁

山崎幸治 2009. 02 加藤克他共編「先住民族と博物館資料: アイヌ文化展示準備のなかでの学び」『teetasinrit tekurukoci 先人の手あと 北大所蔵アイヌ資料: 受けつぐ技』北海道大学総合博物館、北海道大学アイヌ・先住民研究センター: 札幌 pp. 92-97

山崎幸治 2009. 03. 25 「現代における物質文化資料の収集について: コメント」北海道立北方民族博物館編『北方の文化: 北太平洋地域の博物館と民族文化3』(第23回北方民族文化シンポジウム報告書) 財団法人北方文化振興協会: 網走 pp. 41-44

山崎幸治 2009. 06 「アイヌ史研究におけるモノと文献: シーボルトの蝦夷細工を中心に」学術文献刊行会(編)『日本史学年次別論文集(日本史学一般)2006年版』(全文収録) 朋文社: 東京 pp. 638-645

山崎幸治 2009. 07. 30 佐藤知己(北海道大学文学研究科教授)共著「『北海道大学アイヌ・先住民研究センター』案内看板のアイヌ語表記について」『itahcara』第6号編集事務局編『itahcara』6 itahcara 第6号編集事務局: 白老 pp. 69-74

山崎幸治 2009. 12. 16 「アイヌの靈魂観」『古代世界の靈魂観』(アジア遊学 128) 勉誠出版: 東京 pp. 124-135

山田悟郎 Yamada, Goro 2008 Yasuyo Tubakisaka 共著「About the Genealogy of Barley Excavated from Hokkaido」『極東先史古代の穀物』(日本学術振興会平成16~19年度科学研究費補助金(基盤B-2)(課題番号16320110)「雑穀資料からみた極東地域における農耕受容と拡散過程の実証的研究」研究成果報告書) pp. 303-310

山田悟郎 2009 椿坂恭代共著「遺跡から出土したササ属種子について」北海道開拓記念館編『北海道開拓記念館研究紀要』37 北海道開拓記念館: 札幌 pp. 13-22

山田悟郎 2009 「モヨロ貝塚の住居跡および墓壙から検出された植物遺体について」米村衛編『史跡最

寄貝塚』 網走市教育委員会:網走 pp. 413-423

山田悟郎 2009 「植物の食利用:雑穀」 『縄文時代の考古学 3:大地と森の中で』 同成社:東京 pp. 160-168

山田悟郎 2009 椿坂恭代共著 「農耕と文化の伝播:北の農耕」 『ユーラシア農耕史 4:さまざまな栽培植物と農耕文化』 臨川書店:京都 pp. 48-85

吉田睦 2008.04.20 「ネネツ:経済自由化にともなうトナカイ牧畜とその変化」 『季刊民族学』 124 財団法人千里文化財団:吹田 pp. 20-24

吉田睦 2009.03.25 「森林ネネツ (ロシア・西シベリア) のトナカイ牧畜:先行研究概説」 『ユーラシア言語文化論集』 11 千葉大学ユーラシア言語文化論講座:千葉 pp. 1-20

吉田睦 2009.11.10 「第2章 ロシア・西シベリアにおける石油・天然ガス開発とトナカイ牧畜民」 岸上伸啓編著 『開発と先住民』 (みんぱく実践人類学シリーズ7) 明石書店:東京 pp. 35-60

吉田睦 2009.11.15 「3.4 石油・天然ガス開発とツンドラの荒廃」 岡洋樹、境田清隆、佐々木史郎編 『朝倉世界地理講座:大地と人間の物語』 (第2巻『東北アジア』) 朝倉書店:東京 pp. 99-108

吉田睦 2009.11.15 「4.1 帝政期ロシアのシベリア統治」 岡洋樹、境田清隆、佐々木史郎編 『朝倉世界地理講座:大地と人間の物語』 (第2巻『東北アジア』) 朝倉書店:東京 pp. 119-129